

氏名	西田(山口)乃生子	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	成人看護学、グローバルヘルス、感染管理				
学位	博士(保健学)				
学歴	2003年北里大学大学院看護学研究科修士課程、09年東京大学大学院医学系研究科博士後期課程 修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、08年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本ハンセン病学会 日本国際保健医療学会 日本看護学教育学会 日本公衆衛生学会 日本環境感染学会 日本看護科学学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	病床規模別にみた社会人経験のある新人看護師に対する支援の実態 看護管理者への調査から	共著	日本看護学会論文集-看護管理-;第45号;p55-58.	高橋喜代子、川畑貴美子、山口乃生子	2015.4
(3) 学会発表					
1	PBL・TBL混合型教育プログラムの評価—グループ学習による課題解決能力の評価尺度の検討—	共著	日本看護学教育学会第25回学術集会, 徳島市	○大場 良子、鈴木 玲子、常盤 文枝、山口 乃生子	2015. 8
2	PBL・TBL混合型教育プログラムの評価—批判的思考態度と社会人基礎力の視点から—	共著	日本看護学教育学会第26回学術集会, 徳島市	○常盤 文枝、鈴木 玲子、大場 良子、山口 乃生子	2015. 8
3	ハンセン病患者を親に持つネパールの思春期青年のスティグマ	単著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎市	○山口乃生子	2015.11
4	主観的階層帰属意識と歯科保健行動との関連	共著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎市	○伊藤奏、若林子ヒロ、野口有紀、内山真理、加藤朋子、北島義典、新村洋未、延原 弘章、本間三恵子、山口乃生子、柳川洋	2015.11
5	女性の日常的症状の経験とネットによる健康情報希求行動との関連:本邦3地域調査から	共著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎市	○本間三恵子、若林子ヒロ、延原 弘章、北島義典、内山真理、加藤朋子、新村洋未、山口乃生子、伊藤奏、野口有紀、柳川洋	2015.11
6	女性の健康関連ライフスタイル10年間の変化—黒石市、中野市、豊見城市の地域比較—	共著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎市	○若林子ヒロ、本間三恵子、伊藤奏、加藤朋子、北島義典、野口有紀、内山真理、新村洋未、山口乃生子、延原 弘章、久保田富夫、柳川洋	2015.11
(4) その他					
1	日本看護学教育学会第25回学術集会交流セッション:問題解決力を育てる授業をいかにつくるか—Team Based Learningの実践と評価—	共著	日本看護学教育学会第26回学術集会, 徳島市	鈴木玲子、常盤文枝、齋藤美紀子、齋藤史恵、大場良子、山口乃生子	2015.8
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	研究分担者		2014.4~2017.3	
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	グローバルヘルス	2015.10~2016.2	国際的な視野を持つ人材育成のためにグローバル化の影響、海外での保健医療福祉の援助の実際を教授した。		

2	成人看護学Ⅲ	2015.10～2016.2	循環器疾患患者の看護を担当し、循環器疾患に関連した症状、治療とその看護が理解できるよう講義を行った。	
3	卒業研究	2015.4～2016.3	学部の卒業研究を担当し、看護研究の過程の一連が理解できるよう教授した。	
4	保健医療福祉学際英語	2016.1	国際学会への投稿やシンポジウムに関連した資料作成、国際共同研究についての基礎など教授した。	
5	看護政策	2016.1	国際的な看護の動向やグローバルな健康問題についての現状と課題について教授した。	
(2) 演習				
1	臨床実践看護	2015.4	輸液治療に関する看護ケアを中心としたグループワークおよび演習を行い、学生を指導した。	
2	成人看護学Ⅱ	2015.7	フィジカルアセスメントに関連する演習を行い、学生へ指導した。	
3	成人看護学Ⅲ	2015.11～2016.1	周術期およびクリティカルケアに関連する看護技術を習得できるようブックレットを作成、シミュレータを使用して教授した。	
(3) 実習				
1	成人看護学実習Ⅱ	2015.5～2015.6	慢性期の患者の看護について学生が理解できるよう指導した。また実習指導者との調整や学生の実習指導を行った。	
2	総合実習	2015.7～2015.8	学生の課題に応じた患者選定や実習内容を検討し実施した。また実習指導者との調整や学生の実習指導を行った。	
3	成人看護学実習Ⅲ	2015.9	災害看護に関する基礎的知識の教授および学内演習、学外における災害拠点病院見学実習、さいたま赤十字病院での救護所訓練を実施した。	
4	IPW実習	2015.1	ファシリテータおよび病院担当者との調整を行い、学生が演習を行いやすい環境を整えた。	
(4) 論文指導				
1	該当なし			
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	看護管理の動向	郁立板橋中央看護専門学校第1学科	看護と国際協力	2015.6
2	国際看護	山形県立保健医療大学	国際看護	2015.10
3	埼玉県青少年夢のかけはし事業	埼玉県県民生活部青少年課	看護師を目指そう	2015.11
4	国際看護	都立板橋中央看護専門学校第2学科	看護と国際協力	2015.12
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会学術集会実行委員	2014.8～2015.10	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	朝日新聞	ネパール西部地震に関する募金活動	2015.5	
5. 学内運営(委員会委員)				
1	地域専門職連携推進会議 部会員			
2	埼玉県立大学大学歌企画委員			
3	看護学科担任(1年)			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	平成27年度日本ハンセン病学会学会賞受賞	日本ハンセン病学会	2016.2	
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会雑誌 査読(2015.6)			
2	埼玉県リレー・フォー・ライフ2015(2015.9)			
3	日本ハンセン病学会雑誌 査読(2015.11)			
4	国際交流委員会 県内で働く外国人看護師・EPA候補者との交流(2016.1)			
5	山西医科大学大学院留学生指導(2015.4～2016.2)			